

NO.332

泉南走ろう会

泉南スポーツ社
0724(83)4653

例会

・九月十三日(日) 八時 集合

場所 種河神社

・九月二十七日(日) 八時 集合

場所 種河神社

1. 大会案内

● 泉州国際マラソン 二月二十一日

来年の泉州マラソンの申し込みが、九月一日から始まります。参加を予定しておられる方は、早い目に申し込みされた方が良いかと思えます。先着順で定員になり次第締め切りとなります。因みに来年は、東京マラソンが一週間後に予定されています。今回は泉南走ろう会から何方か申し込みされるのでしょうか。例会でもあまり東京マラソンについて話題にならないため分かりません。

2. 大会結果

毎年この時季に参加していたトライアスロンも秋往還前に痛めた右足が、芳しくないたためレースへの申し込みもしていないし、この時期のマラソン大会もあまりないため、今回は記事にもなりません。

3. 今月の話題

なんとと言ってもベルリン世界陸上の話しになるのではないのでしょうか。特に男子1000m、2000mで二つの世界記録を出したポルト選手につきると思えます。自己の持つ6秒98を一挙に0.1秒も縮める6秒98で圧倒的な強さをみせ世界中を驚かせた走りでした。そんな中々結果を出せなかった日本選手も終盤で女子マラソンで尾崎選手が銀で団体でも銀と女子マラソンの層の厚さを見せてくれました。また、投てき競技では、体格的にもメダルなど到底無理と思われるヤリ投げで日本人初となる銅メダルを村上選手が獲得し、一躍時の人となり日本を感動させてくれました。日本の中では常にトップで在りながら世界の中では無名に等しいとの事ですが、本当に驚きました。

フルマラソン340回の名ランナー 山田敬蔵さん 42キロ「引退」



78歳「走るのには続けたい」

往年の名ランナーで、フルマラソンを約340回走ってきた山田敬蔵さん(78)が、42キロのフルマラソンを引退することを決めた。体力の衰えが理由で「もう、42キロは走らない」と話している。

山田さんは157センチと小柄ながら、「小型機関車」の名で50年代に活躍。52年ヘルシンキ五輪で26位になり、53年のポストン・マラソンでは、2時間18分51秒の当時の世界最高(のちに距離不足が判明)で初優勝した。第一線を退いた後も、走ることはやめなかった。特にポストンでは95年から15年連続で出場し、大会のポスターになったり、沿道から「ケーン」の声援がおくられたりするなど、名物ランナーになっていた。

体力の衰えを感じたのは「昨年あたり」という。今年4月もポストンを6時間16分56秒で完走したが、前年の5時間18分23秒を大きく下回り、引退を決めた。

ただ、これからも走ることはやめるとも決めた。「10キロや25キロなら楽しく走れる。健康のために走ることは続けたい」と話している。

09年走行距離

氏名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
芝本 鈴代	520	419	360	450	491	503	447	219	
累計	520.0	939.0	1,299.0	1,749.0	2,240.0	2,743.0	3,190.0	3,409.0	
今仁 正義	212	209	203	255	357	191	208		
累計	212.0	421.0	624.0	879.0	1,236.0	1,427.0	1,635.0		
堀池 一夫	130	180	88	72	163	89			
累計	130.0	310.0	398.0	470.0	633.0	722.0			
栗野原泰正	50	50	90	50	40				
累計	50.0	100.0	190.0	240.0	280.0				
岡田 盛助	365	271	331	269	192	101	245		
累計	365.0	636.0	967.0	1,236.0	1,428.0	1,529.0	1,774.0		
西 和秀	120	125	110	120					
累計	120.0	245.0	355.0	475.0					
石井 繁貴	0.0	0.0	184.0	233.0	303.0	385			
累計			184.0	417.0	720.0	1,105.0			
和田 年弘	152	95	45	81	57	50	166		
累計	152.0	247.0	292.0	373.0	430.0	480.0	646.0		
岡元 邦博	233	278	295	165					
累計	233.0	511.0	806.0	971.0					

